

# 『図書だより 最終号』

2026年 3月号

みなさんにとって学校の図書館はどういう場所ですか？

今の時代は、インターネットでなんでも調べられるし、本や漫画もスマートフォンがあれば読むことができます。

わざわざ本屋さんや図書館に行かなくても、お手軽に読書ができてしまう。

素晴らしい技術の進歩ですね。

でも、このような生活の中でも、たまには図書室に足を運んでほしいと思っています！



図書館の中をフラッと歩いて、並んでいる本を見ていると、もしかしたら気になる表紙の本があるかもしれません。それは今まで読んでことがないジャンルの本で、気になって、本を開いてみると「おもしろいやん」と、読み進めていくかもしれない…。そうして、新しい本と出会うことができます。

新しい本と出会うと、新しい考え方を得るチャンスにもなります！



漫画しか興味がないという人！漫画も立派な読書ですので、たくさん読みましょう！読んでいの中で、知らなかった言葉に出会った時は意味を調べて自分のものにすれば今後の役に立つ可能性がありますよ～～！

では、ここからは図書委員の中から2名に、おすすめの本を紹介してもらいます！

気になったらぜひ読んでみてくださいね！！💎

## タイトル「変身」 作者名（フランツ・カフカ）

### 【内容】

ある朝起きたら、男が巨大な虫になっていた。

家族は最初こそ困惑するが、だんだん邪魔者扱いしていく不条理な話。

### 【おすすめポイント】

最初は心配だったのが、だんだん迷惑になり、最後は邪魔者になるのが面白い。

※ “有名すぎる文学作品をだいたい10ページくらいの漫画で読む”  
という本から選んでくれました。

専攻科 I年 情報コミュニケーション科 Fさん



**タイトル「呪術廻戦<sup>モジロ</sup>」 作者名（芥見下々）**

**【内容】**

呪術廻戦のスピノフ作品で死滅回游から 68 年後の 2086 年です。

主人公は乙骨真剣です。呪術廻戦の主人公は傑物扱いされています。

**【おすすめポイント】**

呪術廻戦の未来が見れる。前作の主人公の力が成長していることがわかるシーンがある。

本科 2年 ライフサポート科 Nさん



**タイトル「オーデュボンの祈り」 作者名（伊坂幸太郎）**

**【内容】**

主人公の伊藤が目覚めると、150 年ほど外界と遮断されている島にいた。その島にはしゃべるカカシがいて、未来を見通すことができるが教えてはくれない。次の日、そのカカシがバラバラにされて頭を持ち去られてしまう事件が起こる。なぜカカシは自分の死を阻止できなかったのか？カカシは自分の未来は見ることはできなかったのか？

**【おすすめポイント】**

カカシが 100 年ほど生きてきた中で経験したことや感じたことなどを、自分の想像力を使って想像しながら読めば、より深く話に入りこめるところがおすすめポイント。

教員 M・S



最後に…本科3年生、専攻科Ⅱ年生のみなさま

いよいよ卒業ですね ✨

これから先、嬉しいことや嫌なことなど、色々なことがあると思いますが、無理をして頑張れば良いという時代ではなくなってきています。

自分自身を大切にすることを第一に考えて、健やかに日々を過ごしてください。

お元気で！また学校にも、図書館にも遊びに来てくださいねー ♪

